

1 教育長あいさつ

- 子ども基本計画で各自治体において子ども計画を立案するようになった。子ども未来課が中心となり今年の3月に御前崎市子ども未来計画が完成した。子育て支援などが主になっている。
- 社会教育課から御前崎市生涯学習ガイドブックが出されている。この中に、中学生が参加できるものが盛り込まれている。部活動の地域展開という形になってきているので参考になる。
- 令和7年度のスクラム御前崎が完成しました。教育行政の基本となる冊子が完成した。
- 来年度には、御前崎市の第3次総合計画で教育振興基本計画が新しいものになるので市民の皆様これから御前崎の教育や子どもたちに未来にどのようなことが必要かなどご意見をいただきたいと思います。

2 学校教育課長あいさつ

御前崎市スクラムスクール運営協議会の役割等について

- 御前崎市教育委員会では基本目標を「郷土を愛し未来を創る人づくり」とし、これの実現に向けて取り組んできた。そして、社会や市民全体、園・学校・地域・家庭・行政が一体となって協働して思いやりがあり互いを認め合うことができ、たくましくしなやかな子どもを育てていく様々な取り組みを「スクラム御前崎」と呼ぶ。

地域の子どもを地域の大人たちで、一致団結して育てていく

- 令和6年度、幼保園・小中学校の保護者の方に対し、御前崎市教育に関するアンケートを実施した。スクラム御前崎について知っているかという質問については知っている、ほぼ知っているが合わせて63.8%の回答があった。
- スクラム御前崎を図式化する。園・小学校・中学校・池新田高校までを一つの学校（縦の連携）と見立てた（途切れない学校）これをスクラムスクールプランという。
- 園・学校・家庭・地域・行政が一体となって取り組む活動（スクラムスクール運営協議会）（横の連携）
この2つの連携が「郷土を愛し未来を創る人づくり」の推進となる。
- 園・学校・家庭・地域が連携して社会総がかりで子どもを育てていくという仕組みがこのスクラムスクール運営協議会である。
- このスクラムスクール運営協議会に対して、各学校で実施しているのが学校スクラムスクール運営協議会という。（年3回ほど実施）
- 本会議の役割として、子どもの抱える課題や子どもに身につけさせたい力等を全体で共有し、各学校で実施される学校スクラムスクール運営協議会においてより実効性のある高い取り組みをめざして御前崎の子どもたちを支援していく。
- 学校単位で行われる学校スクラムスクール運営協議会では、本日の共有したことを参考に各校の運営方針を基に学校の課題を解決する方策等を協議したり、学校運営に対し意見を述べたりすることで子どものよりよい育ちに繋げていく。